

■令和7年度事業の進捗について

総合計画「5-2-2 事業活動の支援」に基づく取組

○オープンカンパニー

- ・市民等を対象とした工場見学や体験を通じて、市内企業の認知度向上を図る
- ・市内企業の人材確保や従業員のモチベーションの向上につなげる

【令和5年度 実績】

実施日：令和5年11月18日（土）午前/午後の2部制

参加企業：4社

辰巳工業(株)、橋本食糧工業(株)、高石工業(株)、(株)伏見屋

定員：各部12名（対象は小学生以下の子どもと保護者）

【令和6年度 実績】

実施時期：令和6年11月4日（月・祝）

参加企業：7社

アイシンシロキ(株)、カリエール茨木、高石工業(株)、

辰巳工業(株)、橋本食糧工業(株)、(株)伏見屋

(株)富士パッキング工業所

参加者数：195人（のべ人数）

【令和7年度 実施予定】

実施時期：令和7年12月5日（金）、12月6日（土）

参加企業：14社（12/5：9社、12/6：9社）

アース環境サービス(株) 彩都総合研究所、アイシンシロキ(株)、

射場石利石材(株)、(株)エフワンエヌ、カリエール茨木、

(株)澤田商店、資生堂 大阪茨木工場、高石工業(株)、辰巳工業(株)、

(株)T.M.G、橋本食糧工業(株)、(株)富士パッキング工業所、

みくりや青果(株)、(株)吉野工業所 大阪工場

募集時期：令和7年10月末から開始予定

新規実施事項：市内大学生と連携したイベントのPR

参加企業間での相互見学等、企業間の交流促進の強化

大阪・関西万博へのワークショップ出展（10/7）

立命館大学での出張ワークショップの開催（11/2）

○中高生等のための職業体験イベント

・市内在住の若者を対象とした市内企業の職業紹介や参加体験型イベントを実施することにより、職業観や地元への愛着を醸成し、将来的に市内企業への就職による定住や、市内回帰の促進、人手不足の課題を抱える市内企業の魅力発信の促進を図る。

【令和7年度実施予定】

日時：令和7年11月8日（土）

会場：立命館いばらきフューチャープラザ1階イベントホール

対象：市内中学生以上の若者

内容：市内企業による自社の取組紹介、ブースでの参加者体験型企画等の実施

参加企業：10社

エスケー化研(株)、オータ建機(株)、北おおさか信用金庫、
グリーンライフ(株)介護付有料老人ホーム、(株)資生堂 大阪茨木工場、
総合保険サービス(株)、高石工業(株)、(株)富士開発コンサルト、
みくりや青果(株)、(株)明治屋食品工場

○市内企業PR事業

・市内企業の認知度が低いこと、市内に特色ある複数の大学が所在していることから、大学生に市内企業をPRするコンテンツを作成してもらい、企業の魅力発信を行うとともに、大学生と企業が関わり合う機会を創出する。

【令和6年度 実績】

連携大学：追手門学院大学

参加企業：河村化工(株)、(株)松永製作所

成果物：市内企業をPRする動画及び冊子

【令和7年度 実施予定】

連携大学：立命館大学

参加企業：(株)エフワンエヌ、辰巳工業(株)、(株)富士パッキング工業所

総合計画「5-2-3 事業者の創出や成長促進」に基づく取組

○図書館との連携

令和7年度より、市場情報評価ナビ MieNa を中央図書館とおにくるブックパーク内に導入。活用方法について、女性向けセミナーにおいて紹介。

○創業支援アフターフォロー、創業者の交流・コミュニティの促進

創業促進事業補助を利用した事業者を個別訪問し、経営状況を把握したうえで、中小企業アドバイザーによる経営アドバイス等を実施することで市内での操業継続につなげる。併せて、事業者同士の交流を目的としたセミナー、イベントを実施する。

【令和7年度実施状況】

令和5年度の補助金利用者 22 人に、アフターフォローについての案内文を郵送し、令和7年10月1日時点で、5件の個別訪問を実施。

交流会について、年度中に実施に向けて創業支援ネットワークにおいて検討中。

○特産品やふるさと寄附金につながる製品の開発支援

既存の補助金の条件見直しを含め、令和8年度に向けて制度を検討中。

総合計画「5-2-4 観光の振興」に基づく取組

○コンテンツの発掘・整理

【令和7年度 実施状況】

地方創生人材支援制度を活用し、令和7年5月より、株式会社エイチ・アイ・エスより専門監として職員を雇用（任期令和8年3月末まで）。コンテンツの発掘・整理等、観光振興につながる施策とともに検討中。

○近隣市との連携

茨木市の観光スポットの周知にあたり、近隣市と連携し、周辺のスポットも含めたコンテンツ造成を行うことで、より効果的な発信につなげる。

【令和7年度 実施状況】

- ・ 令和7年8月20日 京都府亀岡市との「広域観光連携に関する協定」を締結

連携事項

- ・ 両市の観光団体等の相互交流を推進し、理解を深めること
- ・ インバウンドを含める観光誘客を目的に連携したプロモーションを実施すること
- ・ 観光連携資する催事の企画や、観光ツアー造成等の取り組みを推進すること
- ・ その他、協定の趣旨を実現するために必要なこと

今後の具体的な取組

- ・ 観光庁等の補助金を活用した、両市をめぐるツアーの造成
- ・ 両市の観光スポットの相互紹介

○観光資源の情報発信・プロモーション

ダムパークいばきたを中心としたプロモーションを大阪観光局と連携して実施。

【令和6年度 実績】

大阪観光局に事業委託。ダムパークいばきたを中心とした複数のスポットを取材し、紹介記事を大阪観光局のホームページ上に公開

【令和7年度 実施状況】

大阪観光局に事業委託予定。ダムパークいばきたのプロモーションについて、現在企画調整中。

臨時事業（物価高騰対策事業）

○プレミアム付商品券事業

物価高騰等により厳しい環境にある市民生活・事業活動を支援する。

令和7年5月1日時点で茨木市に住民票がある全世帯に購入引換券を送付。

その後、65歳以上の方のみで構成される世帯には、追加で購入引換券を送付。

①発行総額

全世帯分： 12億1,500万円（5,000円分の商品券×13万5,000世帯×2冊×0.9）

追加発送分：1億7,575万円（5,000円分の商品券×3万7,000世帯×1冊×0.95）

②販売額

2,500円で5,000円分の商品券（1冊）を販売

全世帯分は1世帯2冊まで、追加発送分は1世帯1冊まで購入可

③使用期間

令和7年6月30日から令和7年9月30日まで

④取扱店舗数

1,012店舗

⑤販売実績（令和7年8月末時点）

販売実績 237,273冊（郵便局 90,979冊、イオン等 146,294冊）

○運送業事業者支援給付金

原油価格の高騰により深刻な影響を受ける、貨物自動車運送事業者及び旅客自動車運送事業者（市内中小企業・個人事業主）に対し、事業の継続を支援する。

①対象者

令和7年4月1日時点で市内に営業所を置き、貨物自動車運送事業または旅客自動車運送事業を営む中小企業（みなし大企業を除く）・個人事業主（営業に必要な許可または届出を行っていること）等の条件を満たす事業者

②給付内容

令和7年4月1日時点で、市内の営業所に保有する事業用車両

1台あたり：3万円、1事業者の上限：30万円

※緑または黒ナンバーに限る、1事業者につき1回の申請

③申請期間

令和7年5月1日から令和7年7月31日まで

④実績

申込件数 262 件

支給総額 53,130,000 円